

平成31年度 京都市立高野中学校の教育

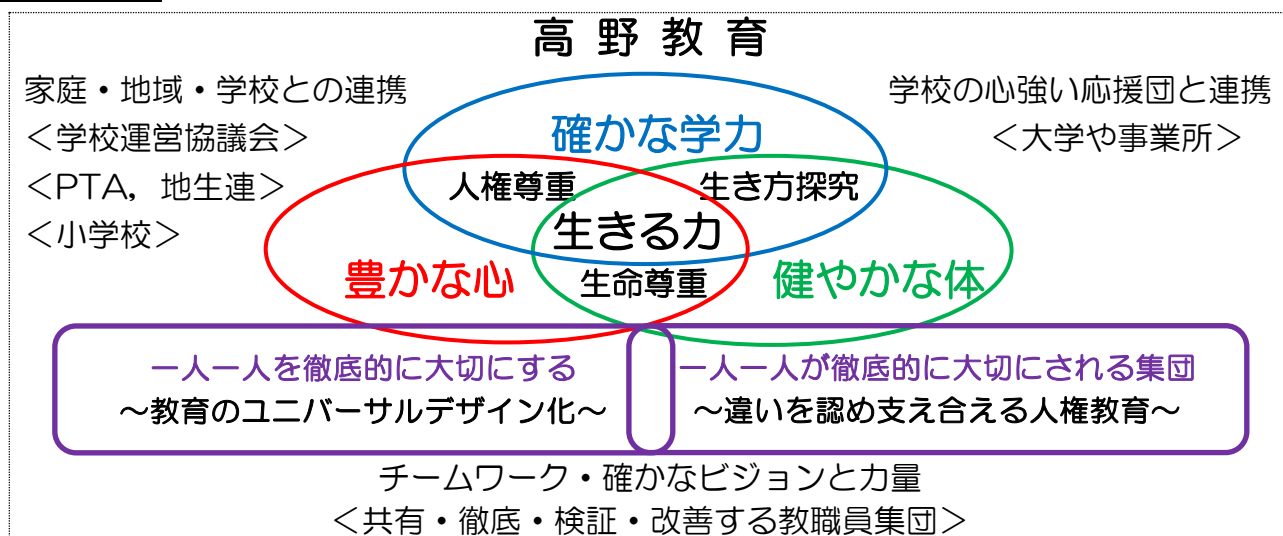
小中一貫教育目標

小中9年間で「生きる力」を育む

～子どもの『いのち』と人権を守りきる小中一貫した学校づくり～

学校教育目標

一人一人を徹底的に大切にする「高野教育」の推進



めざす生徒像

- ・自ら学ぶ意欲と力を持つ生徒
- ・共に支え合い、高め合う生徒
- ・正しく判断し、行動する生徒

めざす学校像

すべての生徒を支える カドのないまあるい学校
～教育のUD化をベースとした、生徒の
「自己肯定感」を高める教育活動の推進～

学校経営方針

1. 一人一人を大切にできるきめ細かな指導により、誇りと自信を持って通える学校づくり

- ①人と人とのつながりの中で、意欲的に学び合える集団づくり
 - ・あいさつの徹底
 - ・学びにふさわしい学習環境作り（ユニバーサルデザイン化の視点で）
- ②支え合い、高め合える集団づくり
 - ・生徒会活動の活性化
 - ・道徳・人権学習の充実
 - ・個に応じた継続的支援（クラスマネジメントシートの活用）
- ③チームワークを大切にしたい教育活動
 - ・校内委員会の活性化
 - ・「困り」を抱える子どもに対する支援と的確な連携・協働活動

2. 一人一人の学ぶ意欲を高め、習得した知識・技能を活用し、課題を解決する力の育成

- ①学習習慣の確立と学習基盤の確立
 - ・学習基本となる姿勢や習慣作り ・家庭学習の充実をめざす課題設定
 - ・基礎の定着を図る補充学習 ・学習確認プログラム活用の徹底
- ②「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる効果的な指導方法の工夫や改善
 - ・グループ学習（学び合い）の活用 ・言語活動（伝え合い）の充実
 - ・個に応じた指導法や指導体制（授業のユニバーサルデザイン化の推進）
- ③生涯にわたり学びつづける力の育成
 - ・キャリア教育の充実
 - ・朝読書の充実や学習・情報センターとしての図書館活用促進

3. 一人一人が「いのち」の大切さを認識し、互いを大切にする仲間づくり

- ①違いを認め合い、人権を尊重し、社会が持つ課題を見抜き、解決する力の育成
- ②道徳の時間を要に全教育活動を通じて道徳的実践力の育成
- ③自らが健康で安全な生活をつかみとることができる子どもの育成

4. 保護者や地域との双方向の信頼関係構築と、開かれた学校づくり

- ①学校運営協議会を活用し、学校と地域が一体となった学校運営の推進
- ②学校評価システムを活用した取組の検証と改善